

会 議 録

会議の名称	平成25年度 第3回 本荘まちづくり協議会
開催日時	平成26年2月10日(月) 午前10時～11時50分
開催場所	本荘由利広域行政センター「学習ホール」(3階)
出席者氏名	「委員名簿(網掛け)」のとおり
欠席者氏名	「委員名簿」のとおり
会議次第	
1.開 会	
2.会長あいさつ	
3.議 事	
(1)市総合計画・新創造ビジョンの策定方針等について	
(2)前回協議内容について	
(3)由利本荘市の子育て支援について	
(4)その他	
4.閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

本荘まちづくり協議会委員名簿

出席者（16名）：網掛け

役職	氏名
会長	渡辺 義弘
副会長	菊地 長司
委員	荘司 仁
委員	田中 准子
委員	高井 重保
委員	保科 慶一
委員	小松 良太郎
委員	佐々木 保之
委員	川津 利幸
委員	小野 秀一
委員	堀 幸子
委員	中嶋 豪
委員	鈴木 登
委員	工藤 久美子

役職	氏名
委員	吉田 朋子
委員	伊藤 春美
委員	高原 一心
委員	佐々木 律子
委員	佐々木 亮
委員	小石 裕英
委員	佐藤 留美子
委員	今野 直子
委員	村岡 兼幸
委員	嶋崎 真仁
委員	縄野 博美
委員	中村 鎮
委員	竹内 武

平成25年度第3回 本荘まちづくり協議会 行政出席者名簿

市総合計画・新創造ビジョンの策定方針等について

職 名	氏 名	摘 要
企画調整部総合政策課		
課 長	原 田 正 雄	
課長補佐	柴 田 浩 樹	

子育て支援について

職 名	氏 名	摘 要
市民福祉部子育て支援課		
児童支援班長	豊 嶋 昌 則	

事務局

職 名	氏 名	摘 要
企画調整部長	伊 藤 篤	
企画調整部地域おこし課		
課 長	袴 田 範 之	
参事兼課長補佐	高 橋 孝 紀	
地域おこし班長	小 松 明 子	
主 査	菅 野 基	

会議の経過

平成25年度 第3回 本荘まちづくり協議会

平成26年2月10日(月)

午前10時00分 開会

午前11時50分 閉会

開会(進行:地域おこし課 高橋参事兼課長補佐)

ご案内の時刻となりましたので、ただ今より、平成25年度第3回本荘まちづくり協議会を開会いたします。次第によりまして2の会長あいさつです。渡辺会長よりしくお願いします。

渡辺会長

おはようございます。みなさんお忙しい中、またあいにくの天気の中お集まりいただきましてありがとうございます。今日第3回目の協議会は、前回「住民自治と都市計画について」ということで話し合った内容と、それから市総合計画・新創造ビジョンについて市の方からご説明を伺った後にみなさんから質疑をいただきくことになっております。よろしく申し上げます。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

ここで、議事に入ります前に、由利本荘市まちづくり協議会条例第7条第2項の開催要件に関する報告をいたします。本日の出席委員の皆さまは、現時点で16名でございます。定数27名の1/2以上でございますので、開催要件を満たしている事をご報告いたします。

それでは議事に入らせていただきます。

条例第7条第1項の規定により会議の議長は、渡辺会長にお願い致します。

渡辺会長(議長)

それでは、次第に従いまして協議に入ります。

最初に、議事の(1)「市総合計画・新創造ビジョンの策定方針等について」市の方より説明をお願いします。

(総合政策課 原田課長 柴田課長補佐 説明)

渡辺会長(議長)

ありがとうございました。ただいまご説明をいただきましたが、質疑ある方挙手をお願いします。

A委員

新創造ビジョン策定の市民アンケートとは、「計画の策定体制」の中の「市民」に位置

づけられているものでしょうか。

総合政策課 柴田課長補佐

そのとおりでございます。市民のみなさん人口の約5%でありましたが、その貴重な意見を集約いたしまして新創造ビジョンで取り組むべき課題のが出てくると思われますので、これによって厚みのある新創造ビジョンをつくるための位置づけであります。

B委員

市民アンケートの件ですが、これは結果は公表されるのでしょうか。

総合政策課 柴田課長補佐

ただいま集計中でありまして、5月か6月ころになりますが市ホームページで公表します。また各地域には冊子も設置しまして、みなさまの貴重な時間をいただいて実施しましたので広く公表したいと考えておりますのでよろしくお願いします。

C委員

アンケートは住民だけですか。ふるさと会とか外の意見は求めていますか。

総合政策課 柴田課長補佐

首都圏で活躍されておりますふるさと会のみなさまは、かなり熱意を持って会の運営に取り組んでいらっしゃいます。実際こういった方々へのヒアリングも計画しております。直接会長さんをはじめ役員のみなさんに会って、首都圏からのエールとともに叱咤激励などもお会いしながらヒアリングを実施したいと考えております。

C委員

ヒアリングだけで、このアンケートは出していないのですね。

総合政策課 原田課長

あくまで市民アンケートですので、ここに在住している方の普段の暮らしぶりの中から見えてくるニーズとか今の気持ちとか考え方を集約することで、客観的なデータをとることがアンケート。これと別に有識者や各界各層のみなさんからはアンケートではなく双方向の意見交換をさせていただいて、その意見をまとめていく。という二通りのやり方を考えております。ということでふるさと会のみなさんにはアンケートではなく面談という形をとらせていただくことでご理解願います。

C委員

地元にいるとわかるんですが、外から見るとまるっきり違った角度から見えるんですよ。私も本荘をそういった角度から見ておりますので、こういったアンケートが外に出て行くと全然違った形で答えが書かれるんじゃないか、その中から生かされることを取り上げたらどうでしょう、ということです。当たり前をなくして、新しい分野なり方

向性を見いだしていければと思うのですが。

総合政策課 原田課長

やはり内向きではなく外部の意見が必要だという考え方は、C委員と同様の考え方です。方策についてはヒアリングというやり方もありますし、いろいろな外部からの客観的な情報収集というのもこれから大事だと思いますので、貴重なご意見として賜りたいと思います。

C委員

この総合計画の名称は、新年度以降同じように使われますか。それとももう少し柔らかい名称も検討していますか。

総合政策課 柴田課長補佐

名称については、市総合計画・新創造ビジョンという看板なんですけれども、副題としてこのアンケートの中にもキャッチフレーズ等の設問もありましたので、参考にしながら基本構想の中での示し方をしていきたいと思っております。

C委員

ということは、そのアンケートを見てまた検討をされるということですか。もう少し柔らかく誰にでもわかりやすい言葉が使われたら取り組みやすいのかなと思います。

それから古い50年前の都市計画ありますよね、それを生かしながら進められるのでしょうか。

総合政策課 原田課長

先ほど、総合計画というのは市政運営の最上位計画というご説明をいたしました。その下に福祉計画とか都市計画とかそれぞれの部署のマスタープランがあります。それらは同じ方向を向いていなければならないということが大原則であります。この総合計画ですべての細かい所まで計画していくというよりは、方向性を定めてそれに添った都市計画をこれからローリング、新たな都市計画が必要であればしていくという考え方ですので、全部を見直すということではありません。都市計画も合併後に何度か審議会などで変更を重ねておりますので、変わらない部分もありますが全体的には見直しをかけられている、変わっているということをご理解願いたいと思います。

D委員

現行の総合発展計画ですが、これの反省というか総括というか、これは現行の施策評価と記載されていますが、実際にはどういう組織でなされるのでしょうか。市の職員だけで見直しがされるような風にも見られますが、我々一般の人も含めてアンケートという形での捉え方なのでしょうか。やはり今までの総合発展計画は土台であってないがしろにする訳にはいかないと思いますので、十分な反省や見直しがなくアンケートだけで新しい計画を作るとするのは非常に危なっかしいと思いますがいかがでしょうか。

総合政策課 柴田課長補佐

現行計画の点検・評価はもちろん実施いたしますし、平成22年度から実施しております外部評価委員のシステムも使いながら市民意見の点検・評価をしている実績もございます。併せまして有識者ヒアリング、首都圏のふるさと会のみなさんからのヒアリングなど多彩に展開しながら重層的な課題に応える新創造ビジョンということで考えております。

D委員

外部評価の結果を市のホームページで拝見しております。すると政策の中の主なものしかなく全体的な評価というのはありません。抽出された事業の評価だけです。そういったことも踏まえてもう一步か二歩、踏み込んだものが必要なのかなと思います。この点検・評価は市の職員だけで行われるのでしょうか。やはり市の職員だけでは真の評価には行き着かないと思うのですがいかがでしょうか。

総合政策課 柴田課長補佐

外部評価につきまして、現計画は8つの大綱、柱立てがあってその中の主要事業を、市民から選ばれました外部評価委員のみなさんが評価する事業を選んで評価しております。その中にはかなり厳しい評価を受けているものもございます。「新たなまちづくり検討委員会」の中でも現行の計画に対する点検・評価の結果をお示しして参りますので、これを踏まえて市民とともに作り上げる新創造ビジョンと考えております。

D委員

「新たなまちづくり検討委員会」のメンバーについてですが、やはり若い人が入るようなことが必要かなと。きのうカダレで地域おこし100人プロジェクトがありましたけれども、彼らは「幸せってどういうことか」というようなことも真剣に考えている。そういったものを取り入れられるようなものが必要だと思いますが、メンバーは何人くらいで、若い人たちの意見をどうやって取り入れるのかお聞きします。

総合政策課 柴田課長補佐

アンケートには市民の幸福度についての設問もございます。具体的に「新たなまちづくり検討委員会」の委員構成ですが、各地域の住民代表としては8つの地域のまちづくり協議会の会長さん、自主防災促進会議の会長さん、スポーツ推進委員会の会長さん、それから今回は女性力を意識して商工会女性部の部長さん、JA秋田しんせい女性部の部長さん、由利高原鉄道のアテンダントさん、幼稚園保育園の関係者、本荘八ム民の会、男女共同参画促進会議、県立大学から経営システム工学科長、由利総合組合病院の院長といった構成で22名です。やはり新しい由利本荘をつくるのは新しい世代だと思いますので、まちづくりセッションという形で若い人に限らず幅広い市民の参画を願いセッション形式のものも考えておりますのでよろしくお願ひします。

E 委員

現状分析をどのように行うのかということがひとつ問題だと思います。例えばこの地域の産業力として、どういった力があってそれが他の地域にとってどれくらい実力をもっているのか。観光もそうです。それがどれくらい伸びていくと10年後に幸せな状況になるのか、というところがある程度数値で示される必要があると思います。数値で示されないまでも今現状でどれくらいの実力を持っているのかということを示した上で、アンケートをとるなりヒアリングするなりしていかないと、過大評価してしまったり過小評価してしまったり、最終的に10年後に評価ができないという状態になりはしないか非常に懸念されます。その辺についてはどうお考えですか。

総合政策課 柴田課長補佐

非常に重要な観点だと思います。この由利本荘市、にかほ市も含めまして電子部品デバイス産業に集積度が高く、TDKを中心とする本荘工業団地にも産業集積の核ということで再編成がほぼ終わっているところですが、加えまして航空機産業とか市内いろいろな地域企業が新しい産業にも参画しようとする息吹がございます。こういったものも加味しながら基礎データの収集を含め、新しい計画でも数値目標を設定する予定でございます。現計画の点検ということについては本来であれば数値目標がなければ評価はできない訳であります。外部評価のシステムを活用し市民意見も取り入れながら市として総合的に点検し、新たなまちづくり検討委員会での市民委員の中でまた協議していただきますので、よろしくご理解いただきたいと思っております。

渡辺会長（議長）

では次に（2）前回の協議内容について事務局よりお願いします。

（地域おこし課 小松班長 説明）

渡辺会長（議長）

今の説明につきまして、意見や付け足しなどありませんか。

F 委員

前回の協議会に出席できませんでしたので、ひとつ付け加えさせていただきます。私は芸術文化協会からの推薦であります。合併前から小ホールの設置について要望して参りました。カダレには大ホールがありますが、やはり広すぎて使いづらい。そうすると文化が分散してしまっていて廃れてしまう。このまとめたもの「都市計画について」の中に一文付け加えていただきたいと思います。

渡辺会長（議長）

次に（3）由利本荘市の子育て支援について、事務局から説明をお願いします。

地域おこし課 小松班長

みなさまからアンケート形式でいただいたテーマを大きく3つに分けまして、前回ひとつめのテーマが「住民自治と都市計画について」ということで話し合い、まとめました。次回のテーマが「子育て支援について」でございますので、その前段として今年度市で実施しております子育て支援について、本日は子育て支援課から資料とともに説明をさせていただきます。

(子育て支援課 豊嶋班長 説明)

C委員

子育て支援の中身ですが、基準の見直しを考えていますか。国の基準によって市の基準を見直ししようとしているということでしょうか。

子育て支援課 豊嶋班長

アンケートに関しましては、現在集計中でありまして、それが済みましたら必要に応じて条例を整備するということになります。せっかく貴重なご意見をいただいておりますので、細かい集計をしてニーズをまとめた後に「子ども子育て会議」にて検討していくということになります。

G委員

資料の中で「家庭相談員を2名配置」ということですが、女性の方ですか。実際、私も子育て中ですが、こういった方がいらっしゃるということも認知しておりませんでしたので。

子育て支援課 豊嶋班長

女性と男性1名ずつおります。二人とも70歳前後の方で、元校長先生だった方とコロニーの職員だった方です。

G委員

実際にこちら(子育て支援課内)に、家庭相談員の方がいらして、何か相談などに対応していると思いますが、勤務日とかどういった対応をしていただけるのか教えてください。

子育て支援課 豊嶋班長

二人おりますが、毎日二人いるわけではなく、それぞれ週3日勤務で木曜日だけは二人勤務しております。相談の内容に応じて柔軟に対応しておりまして、話しを聞くだけの人もいれば家庭訪問が必要な人もおりますので、その方に合った対応をしています。

G委員

私もアンケートの回答をしました。現在集計中ということは先ほどお聞きしましたが、実際に「こういった回答があった」とか「それに対してこういった対応をした」など、

きちんと全部どこかで公表されるのでしょうか。

子育て支援課 豊嶋班長

公表の方法については、まだ決定しておりません。アンケートの内容が非常に細かくて膨大でありますので、やはりそれが終わってからの検討になります。

G委員

私は今日、この会議に出席しているので、作業中であることはわかったのですが、そうでない方々は、回答が53%あって現在集計中であることとか、平成27年度に子ども子育て会議が開かれることとか、そういった情報が広報されたりしないと、答えはいいがあれはどうなったのか、という疑問や不安の声が実際聞こえますので、お伝えしたところです。

子育て支援課 豊嶋班長

ありがとうございます。課内に持ち帰りまして、貴重なご意見として対応を検討したいと思います。

渡辺会長（議長）

現在、保育園・幼稚園で待機児童はありますか。

子育て支援課 豊嶋班長

待機児童につきましては基本的にはおりません。ですが第一希望の保育園や幼稚園に行けないといった子どもさんはいると思います。

A委員

資料の中に「児童館」「児童センター」の記載がありまして、無料で利用できる地域の遊び場と書かれています。私は「孫育て世代」で、土日祭日は孫と一緒に過ごしています。家の中、家の付近、地域の公民館など回りながら遊ばせていますが、すぐに飽きてしまいます。子どもたちはイオンに行って何か買ったりすることが一番手軽で楽しそうなんです。本荘にはさまざまな設備の整った施設が少ないなと思います。ここに記載の4つの児童館はどういった遊び場なのか教えていただきたい。周辺住民は大いに利用していると思いますが、地域外の住民の利用はどのくらいか教えていただきたい。

子育て支援課 豊嶋班長

児童館の利用状況については、本日資料を持ち合わせておりませんので申し訳ありませんがお答えすることができません。本荘中央児童館につきましては、大変古い建物ですが、指導員がおりますしさまざまな遊具がございます。今回のアンケートの中にも「室内で安心して遊べる遊び場がほしい」というご意見もたくさんいただいておりますので、検討して参りたいと思います。現在の児童館には、歩き始めた小さなお子さんから、小学校高学年のお子さんまで利用しておりまして、さまざまな遊びをしています。中には

学童保育も兼ねている児童館もあり賑やかにしておりますが、ぜひ一度利用していただきたいと思います。

渡辺会長（議長）

他になければ、次に（４）その他、事務局からお願いします。

地域おこし課 小松班長

本日ご出席の嶋崎委員より「第９回地域の明日を考える大学セミナー」について情報提供がございました。

（嶋崎委員 情報提供）

渡辺会長（議長）

他になければ、本日の会議を終了いたします、お疲れ様でした。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

ありがとうございました。以上で本日予定の議事が終了しましたが、ここで担当部長であります企画調整部 伊藤部長よりごあいさつ申し上げます。

企画調整部 伊藤部長

本日は熱心なご協議ありがとうございました。総合計画について、最初の説明の「市総合計画・新創造ビジョンの策定等について」に関しまして、策定方針等あるいはアンケート等についてご説明させていただきましたが、特にこのまちづくり協議会と市総合計画との策定の関係でございますが、合併して由利本荘市になりましたが依然として８地域ありまして、本荘を除いて総合支所が置かれているという行政機構になっております。今後平成２７年度以降１０年間の総合計画を策定する上で、地域の特性をどのように反映させていくのか、これが大きな話題となったところであります。市総合計画は、まちづくり協議会の中でいろいろな検討をいただく訳ですが、各地域の歴史、文化あるいは特性などを踏まえた地域別のそれぞれの整備方針を検討いただきたいと思います。それから、今日は子育て支援の市の施策についてご説明させていただきましたが、今後その政策について、みなさま方の生活実体上の観点から、更に検討すべき制度はないのか、現状に対応しきれていない問題はないのか、といった観点から今後議論が進むものと考えております。地域の問題解決に一躍を担っていただきたい、という期待もございますので、問題点の把握だけではなくそれを解決するための策まで踏み込んだ議論をいただければ大変ありがたい。ただ解決策の中には、住民同士で解決できる部分、あるいは市が対応する部分、いろいろあろうかと思っております。そういったものを総合的に検討していただければ大変ありがたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。本日は大変ありがとうございました。